

## 20.10 放射線による副作用

メトロニダゾール Metronidazole

## ●ロゼックス(ガルデルマ)

ゲル：0.75%(50g)

## ●フラジール(塩野義)

内服錠：250mg→160頁

膾錠(富士製薬)：250mg→1145頁

## ●アネメトロ(ファイザー)

点滴静注：500mg→160頁

[特]a.水性ゲル製剤：皮膚潰瘍部でのグラム陽性及びグラム陰性嫌気性菌を殺菌→臭気物質(プトレシン、カタペリン)の産生を防ぐ。

b.潰瘍部位へ塗布のため、全身吸収大→副作用に注意。

1日30g塗布でピーク濃度852ng/mL

[効]がん性皮膚潰瘍部位の

殺菌・臭気の軽減。

[用] a.1日1～2回：潰瘍面を清拭後、症状、病巣の広さに応じ適量塗布。

b.ガーゼ等にのばして貼付又は直接塗布しガーゼ等で保護。塗布部位の乾燥を防止。

[体内動態]主に肝代謝。

[禁]1.脳、脊髄に器質的疾患(脳・脊髄腫瘍を除く)→中枢神経系症状。

2.妊娠3カ月以内。

[慎]1.血液疾患→白血球減、好中球減。

2.脳・脊髄腫瘍→中枢神経系症状。

[注]1.皮膚に刺激時：医師の診察→回数減又は一時中止

2.使用中は紫外線曝露を避ける：

日光、日焼けランプ→効果減。

[患]授乳しない：母乳へ移行。

[併]→■頁

[副]D. ●塗布潰瘍部の出血9%、皮膚乾燥、紅斑、そう痒、皮膚灼熱感、皮膚疼痛、皮膚刺痛、接触性皮膚炎、皮膚剥脱、顔面腫脹、四肢のしびれ、感覚鈍麻、錯感覚、金属味、悪心、蕁麻疹、血管浮腫。